



ファームウェアのアップデートについて

ライカ M/ライカ M-P(Typ 240)用 バージョン2.0.3.0

ライカ M(Typ 262)用 バージョン1.0.0.6

ライカ M モノクローム(Typ 246)用 バージョン1.0.1.0

ファームウェアをアップデートすることにより、ライカ Mの機能や性能を向上することができます。

アップデート情報

対象機種	ライカ M/ M-P(Typ 240)、ライカ M(Typ 262)、ライカ M モノクローム(Typ 246)
バージョン	2.0.3.0/ 1.0.0.6/ 1.0.1.0
アップデートファイル名	M240_2030.FW M262_1006.FW M246_1010.FW

内容

バージョン	内容
ライカ M/ ライカ M-P (Typ 240): バージョン 2.0.3.0	機能の変更点と不具合の修正内容 <ul style="list-style-type: none">バッファメモリーがいっぱいになったときでもカメラの操作が出来るように改善しました。ユーザープロファイルに登録される設定項目から露出補正を省きました。
ライカ M (Typ 262): バージョン 1.0.0.6	
ライカ M モノ クローム (Typ 246): バージョン 1.0.1.0	

- 512GB の SD カードに対応しました。
- [設定リセット]後の記録形式の初期設定を[DNG + JPEG fine]へ変更しました。
- GPS 位置情報を 2.5 時間記憶できるようにしました。(M/ M-P (Typ 240)、M モノクローム (Typ 246)のみ)
- DNG ファイルの再生互換性が向上しました(拡大再生の不具合を修正しました)。
- 書込み速度が遅い SD カードを挿入していると、動画撮影時に注意メッセージが表示されるようになりました。
- 連続撮影後、稀にカメラがフリーズする不具合を修正しました。
- 内蔵時計の精度を向上させました。
- 画像再生時、測光モードアイコンが表示されない不具合を修正しました。
- ファイルサイズ 2GB 以上の動画ファイルを USB 経由で転送できるようにしました。
- 高い ISO 感度で撮影した画像のヒストグラム表示を最適化させました。

- フラッシュ光量補正メニュー表示を見直しました。
- バッテリーに関する注意メッセージを見直しました。
- ライカ M モノクローム (Typ 246) のシャドー部の再現を改善しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

ファームウェアのアップデート方法

1. カメラでSDメモリーカードを初期化します。
2. カメラの電源を切り、SDカードを取り出してパソコンのメモリーカードスロットに挿入します。
3. ライカのホームページから該当するファームウェアをダウンロードします。
4. ダウンロードしたファームウェアをSDメモリーカードの最上層にコピーします。
5. SDカードをカメラに挿入します。
6. INFOボタンを押しながらカメラの電源を入れます。
7. ファームウェアのアップデートが開始されます。アップデートは2分から4分で完了します。アップデート中は液晶モニターに「Updating firmware」のメッセージが表示されます。
8. アップデートが完了すると、液晶モニターにアップデート完了を知らせるメッセージが表示されます。メッセージは数秒後に消えます。

ご注意

ファームウェアのアップデート中は、以下の操作は行わないでください。

- カメラの電源を切る
- バッテリーを取り出す
- レンズを取り外す
- メモリーカードを取り出す
- マルチファンクションハンドグリップ等アクセサリーの付け外し

ファームウェアのアップデート中にこれらの操作を行うと、カメラが故障するおそれがあります。

アップデート中バッテリー残量が少ないと、液晶モニターに警告メッセージが表示されます。必ずフル充電したバッテリーを使用してください。